

<自主的努力項目記入書式>

提携先	藤原食品株式会社	記入日	2010/8/2
登録消費材名	天津甘栗・天津甘栗 300g		

**I. これまでに努力してきたことや、生産条件の限界性など**

遺伝子組み換え対策のため、一般品の水飴を甘藷水飴に変更しましたが当時の水飴は不純物が多く、天津甘栗焼成の本来の目的である、栗の温度を上げすぎず、表面の艶を出すというものとはほど遠い製品となってしまう、製品としての質を維持するのに大変苦勞いたしました。その後、生活クラブスピリッツ（株）から、イオン透過の甘藷澱粉水飴の供給が可能となったため、それから3年を経過しようやく以前の品質の維持が容易にできるようになりました。生活クラブ全体としての業務用原材料の取り組みの広がりがなされた結果でもあり、一企業ではなかなかクリアできない限界でもあります。

**II. 前年度に努力したことへの評価(成果や課題)**

契約圃場のうちの一つ（A）につきましては、圃場管理の深耕を進めてまいりましたが、本年度の連合会との圃場点検により、何点かの問題点が指摘され、課題として提起されました。もう一つの契約産地（B）につきましては契約してからの日時が未だ新しく、地域GAPのくくりをいかに農民一人一人の意識につなげられるかということが課題です。

**III. 上記の成果や課題につながる今年度の努力目標、または今年度の新たな努力目標**

産地Aは契約全戸の統一フォーマットでの農事暦確認ができる体制が整い、本年度から運用をスタートしています。一連のトレース把握をより強固にしていくことが大目標です。産地Bでは移染の可能性がゼロになる農家からの一時集荷所の固定化と環境整備が本年の大目標です。

<自主的努力項目記入書式>

提携先	藤原食品株式会社	記入日	2010/8/2
登録消費材名	天津むき甘栗・殻割れ天津甘栗		

**I. これまでに努力してきたことや、生産条件の限界性など**

天津甘栗の契約産地契約原料を使用して天津むき甘栗・殻割れ天津甘栗を作成することで、弊社の天津栗製品が全て素性が同一となったこと。契約量には限りがあるので、生活クラブ向けに特化し、その中で、トレースの確保について深耕してきたこと。

**II. 前年度に努力したことへの評価(成果や課題)**

前年度工場点検の中で指摘された工場設備の問題、書類整備について工場と連絡を取りながら進めてまいりました。成果については本年度の工場点検の中で落とし込みを行ってまいります。従業員の意識については直接生活クラブの方がお話し頂いたことで高まった面もありますが、従業員の入れ替わりも多く、この意識をそのように引き継ぎながら持続した高い意識を持ち続けられるように努力していくのが今後の課題と考えております。

**III. 上記の成果や課題につながる今年度の努力目標、または今年度の新たな努力目標**

昨年工場点検の際指摘された事項を着実にその意味をわかって遂行できるようになることです。特に、保管倉庫内での区分管理に加え、ロット番号管理を一時凍結原料までつなげ、最終製品がもっと小さな区分管理（農家10軒くらい）の製品履歴がとれる仕組みを作ってまいります。

<自主的努力項目記入書式>

提携先	藤原食品株式会社	記入日	2010/8/2
登録消費材名	中国はるさめ		

I. これまでに努力してきたことや、生産条件の限界性など

現行の契約農家による緑豆を買付、生産、供給の流れになってから4年目になりますが、この間、中国国内の緑豆の相場が高騰し、契約価格に一般品の相場から若干のプレミアを付けた価格が、収穫後の買い上げ相場より低くなってしまいう状況が昨年、一昨年と続き、交渉が大変厳しくなる状況が進んできました。本年度はこのような影響から買付価格の大幅な見直しを図らなければならない状況です。

II. 前年度に努力したことへの評価(成果や課題)

製品の安定化については、パッケージ・目視選別等切り込んでまいりましたが、12月～3月製造の製品については工場内での人員の入れ替えが大変多かったために引き継ぎがうまくできておらず、弊社検品の中でシール不良(1/1000個)等が多く発見されてしまい、必ずしも目標が達成されたとはいえない状況でした。この辺のばらつきをどうなくすかが課題です。また、包材面では袋がはるさめの麺により穴があいてしまうための検品除去が相当数ありました。突き刺し強度の問題を確認すると同時に、箱の容量に対し製品が目一杯入っている場合に、輸送衝撃があったとき麺の逃げ場がなく突き刺しが発生する可能性を考え、箱の大きさを上下左右各1cm大きくいたしましたところ、その後のロットでは全く突き刺しがなくなったことは成果です。

III. 上記の成果や課題につながる今年度の努力目標、または今年度の新たな努力目標

シール不良と最終目視点検については、工場側でルールをもう一度再確認し、できるだけゼロに近づけてまいります。包材についてはさらに状況を調査し、より良い方向に向くよう努力いたしてまいります。

<自主的努力項目記入書式>

提携先	藤原食品株式会社	記入日	2010/7/29
登録消費材名	ザーサイ		

I. これまでに努力してきたことや、生産条件の限界性など

消費材ザーサイは商用ザーサイの製造方法としては極めてまれになった糞漬け発酵ザーサイです。栽培生産者から組合員様までの素性もはっきりとしておりますが、一般のザーサイよりも手間と時間がかかり、どうしてもコストが高くなってしまいます。組合員様の結集量が減少すると一回あたりの生産ロットの輸送経費もかさみ更にコストがかかる結果となります。また、安価なザーサイに押され貴重な糞漬けザーサイがなくなることはないよう、現状の結集量を維持していくことが生産にとって大変重要と認識しています。

II. 前年度に努力したことへの評価(成果や課題)

香辛料を何も使わなくてもおいしい味が出るザーサイスープを主に試食会を実施しました。また、ザーサイ初心者の方へ、簡単な丸ごと塩抜きをレシピ等で紹介し、結集の拡大に努めました。しかしながら、弊社の人間的な関係と冬場の天津甘栗への人員シフトによる交流会実施ができないことにより思った活動はできなかったと思います。

III. 上記の成果や課題につながる今年度の努力目標、または今年度の新たな努力目標

本年も交流会などでは「未だ使ったことがない」という方が多く見受けられ、また、その場でレシピや試食等を用い説明すると利用していただけることから、使い方の啓蒙がまだまだできていないことを痛感します。今年度ということではなく、材を知っていただき利用していただけるための行動として何ができるかを考え、交流会・試食会等を通じ地道にファンを作って行くことが大事だと思います。

<自主的努力項目記入書式>

提携先	藤原食品株式会社	記入日	2010/7/29
登録消費材名	乾燥きくらげ		

I. これまでに努力してきたことや、生産条件の限界性など

材の安全性の確保のために、生活クラブ使用分のみで圃場が限定でき、企業管理により栽培が行われている会社からの導入を実施してまいりました。栽培履歴を明らかにすることで、履歴にあった農薬の検出(無農薬なのであり得ない)なのか、近隣からのドリフトの影響なのか、他の原因による残留なのかがわかった上で問題点を抽出、改善につなげて行く仕組み作りをしてまいりました。

II. 前年度に努力したことへの評価(成果や課題)

仕組み作りをしていく上で圃場限定の強化に迫られ、その結果栽培から組合員様までの全ての素性が明らかになったことは成果なのですが、圃場限定故に数量が限定され、結集量とのバランスがとれず、供給週全ての供給ができなかったことが課題です。

III. 上記の成果や課題につながる今年度の努力目標、または今年度の新たな努力目標

結集数がばらついている中で、調整をうまく行い契約圃場の年内サイクルでの全量消化を行なうため、交流会等での試食や素性の安全性などの勉強会など結集をあげ、キャパシティを保ちながら製品の安定的な供給ができるよう努力いたしてまいります。また、より一層の深耕のため産地点検を本年度もう一度実施し、一昨年に築き上げた圃場管理の再確認をすることで圃場関係者、会社との認識・交流を深めてまいります。